新規・拡充事業一覧

※主な新規・拡充項目については、主なものであるため、事業費総額と合計が合わないことがあります。

部名称	課名称	事業名称	事業費総額		主な新規・拡充項目	主な新規・拡充項目				頁
			令和8年度要求額（千円）	令和8年度最終査定額（千円）		令和8年度要求額（千円）	令和8年度最終査定額（千円）	査定内容	査定の詳細	
観光部	観光推進課	堺観光コンベンション協会事業補助金	333,716		気球を活用した観光誘客・周遊促進事業	18,360				1
					観光情報サイトリニューアル	17,000				
観光部	観光推進課	観光受入環境整備事業	35,232		宿坊施設整備支援補助金	20,000				5
					世界遺産・気球シャトルバス事業	12,030				
観光部	観光推進課	観光魅力創造・発信事業	33,216		堺大茶の湯（万博レガシー関連事業）	2,400				9
					大屋根リングの活用（万博レガシー）	8,000				
					環濠エリアへの周遊促進	4,500				
					JR沿線周遊施策	2,830				
観光部	観光推進課	ガス気球運行事業（観光推進課）	38,710		こども気球負担金	21,101				14

新規･拡充事業一覧

※主な新規･拡充項目については、主なものであるため、事業費総額と合計が合わないことがあります。

部名称	課名称	事業名称	事業費総額		主な新規･拡充項目	主な新規･拡充項目				頁
			令和8年度要求額（千円）	令和8年度最終査定額（千円）		令和8年度要求額（千円）	令和8年度最終査定額（千円）	査定内容	査定の詳細	
スポーツ部	スポーツ推進課	スポーツ推進事業	114,207		ワールマスターズゲームズ2027関西開催準備負担金【拡充】	34,438				16
					親子で楽しむアーバンスポーツ体験教室	3,300				
					ウォーキングイベント事業	820				
文化国際部	文化課	堺茶の湯まちづくり事業	13,000		堺大茶の湯（万博レガシー関連事業）	6,000				21
					大屋根リングの活用（万博レガシー）	4,000				
文化国際部	国際課	外事事業	16,488		チェコ･イタリア渡航	4,509				24

新規・拡充事業一覧

※主な新規・拡充項目については、主なものであるため、事業費総額と合計が合わないことがあります。

部名称	課名称	事業名称	事業費総額		主な新規・拡充項目	主な新規・拡充項目				頁
			令和8年度要求額（千円）	令和8年度最終査定額（千円）		令和8年度要求額（千円）	令和8年度最終査定額（千円）	査定内容	査定の詳細	
歴史遺産活用部	文化財課	文化財保護事業	20,353		国史跡四ツ池遺跡整備事業	204				26
					百舌鳥古墳群の調査・普及事業	9,387				
					堺環濠都市遺跡遺構展示事業	1,700				
歴史遺産活用部博物館	学芸課	博物館管理事業	284,343		堺市茶室の利用促進に向けた取組	6,700				32
					（仮称）堺ミュージアムの整備に向けた取組	50,000				

令和8年度　事務事業予算要求シート（1）

		要求区分	新規・拡充
一般会計		事務事業分類	A　一般事務事業
事務事業名	堺観光コンベンション協会事業補助	事業番号	008-001

担当部署名	文化観光	局	観光	部	観光推進	課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2030	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(1) 類いまれな歴史文化資源の継承と観光地としての魅力の向上
			有	取組の方向性	②魅力ある地域資源を活かした優良な観光コンテンツの創出と充実		
		寄与するKPI	有・無	指標名	世界遺産・大仙公園エリア、環濠エリア、堺東駅及び堺駅・堺旧港周辺の来訪者数		
			有	現状値	848万人（2024年度）	目標値	1200万人(2030年度)
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑻働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9
			有	取組	観光消費の促進をめざす戦略的な観光施策の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	―		
			無	現状値	―	目標値	―

2	関連計画	堺観光戦略		
3	事業開始年度	昭和　56　年度	点検対象年度	令和　12　年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	公益社団法人堺観光コンベンション協会事業補助金交付要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁		
6	事業の対象	公益社団法人堺観光コンベンション協会	対象数	単位
			-	-
7	事業の目的	堺観光コンベンション協会が実施する観光宣伝事業、コンベンション事業、堺まつり事業への補助を通じ、同協会を含めた市内観光関連事業者との公民連携による観光誘客及び市内周遊の促進を図る。		
8	事業内容	堺観光コンベンション協会が実施する以下の事業に対する補助。 〇観光宣伝事業 ・協会HP「堺観光ガイド」やインスタグラムなどのSNSによる堺観光の情報発信 ・着地型旅行商品の開発・販売の実施 ・紐とけば堺の実施 ・NPO法人堺観光ボランティアガイドと連携した観光施設等での定点ガイドの実施 ・４か所の観光案内所の運営、堺フィルムオフィスの運営、パンフレットの作成等の実施 ・堺観光ツアー支援の実施 ・教育旅行誘致事業 〇コンベンション事業（堺ホテル協会、大阪観光局等と連携し、スポーツ関連事業の誘致を促進） 〇堺まつり事業		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先	公益社団法人堺観光コンベンション協会		
10	公民連携・協働事業	堺観光ボランティア協会と連携した定点ガイドの実施		

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

				実績	実績見込み	目標	目標　点検対象年度
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	重点エリア（世界遺産エリア、環濠エリア、堺東エリア、堺ベイエリア）	万人	目標値	−	−	1,000	1,200
			実績値	848	890		
			達成率	−	−		
	当該指標を選定した理由	堺の魅力発信や誘客プロモーションを通じて観光客数が増加することは本事業の目的に寄与すると考えられるため。また、堺市基本計画及び堺観光戦略の期間が満了し、新たな計画等が策定されるため、KPIと本事業の成果指標を合わせるもの。					
	目標値の設定根拠・算出方法	携帯電話事業者の位置情報ビッグデータに基づく全人口推計（拡大推計）					

				実績	実績見込み	目標
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		令和6年度	令和7年度	令和8年度
	堺観光ガイドでの情報発信（ホームページ閲覧数）	人	目標値	2,250,000	1,500,000	1,300,000
			実績値	2,273,441	1,280,000	
			達成率	101%	85%	
	当該指標を選定した理由	堺の歴史文化や観光資源をはじめとする魅力を分かりやすく発信しており、堺を観光する際の情報収集先として活用されているため。なお、令和6年度までの目標値はページビュー数を設定していたが、サイト訪問者の正確な数を測るため、令和7年度以降はサイトを訪問したユーザー数を設定した。				
	目標値の設定根拠・算出方法	令和8年度の堺観光コンベンション協会の年次目標として、令和7年度の実績見込みを参考に大阪・関西万博によるサイト訪問者の増加要因がないことを考慮し、設定。				

令和8年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	堺観光コンベンション協会事業補助	事業番号	008-001

Ⅲ．令和8年度予算要求額

事業コスト

（単位：千円）

	項　目	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 予算	令和8年度 予算要求
13	事業費（a）	236,531	231,198	258,327	284,090	333,716
	財源内訳 国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（　国際文化観光基金等　）				2,000	36,397
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	236,531	231,198	258,327	282,090	297,319

事業費の内訳

（単位：千円）

	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
14 事業費内訳	堺観光コンベンション協会事業補助	R7	予算	284,090	282,090		R7	予算		
		R8	予算	333,716	297,319		R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		

債務負担行為

（単位：千円）

15	期間	R　～　R	要求額	

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	R7の大阪・関西万博開催の好機を逃さず、万博来場者の堺市への誘客を促進し、観光消費額単価の向上に向けた取組を行った。また、新たな体験型ツアー等の造成・販売などにより市内への観光誘客、周遊促進に資する事業を実施した。
	R8	大阪・関西万博に向けて実施した取組を検証した上で効果的な取組は継続し、長時間滞在や宿泊観光につなげ、観光消費額単価の向上に向けた取組を行う。また、新たな誘客ターゲットとして教育旅行の誘致を行う。あわせて、体験型ツアー等の造成・販売や会員数の増加など自主財源の確保を図る。
	R9以降	大阪・関西万博に向けて実施した効果的な取組の継続、ガス気球を活用した取組、教育旅行の誘致を実施することで、堺市への誘客、長時間滞在や宿泊を促進し、観光消費額単価を向上させる。

Ⅴ．要求のポイント

17	要求のポイント	本市の観光に関する事業やコンベンションに関する事業を振興し、個人旅行者や団体旅行者をターゲットとして、堺市への誘客促進、長時間滞在、観光消費額単価の向上に向けた取組を行う。 【新規・拡充事業】 ・気球を活用した観光誘客・周遊促進事業 　気球の運行開始を受けて開設した「気球のりば観光案内所」で、気球以外の堺の多彩な魅力をそれぞれのニーズに応じて提案・発信することで、堺の観光に厚みを持たせ、市内周遊の促進、滞在時間の延伸に繋げることで、地域経済の活性化を図る。 ・観光情報サイトリニューアル 　堺観光の窓口となるホームページのOSの更新に加えて、メディア等で取り上げられたトピックに関連するページにアクセスが集中するとサーバーがダウンする状況にあるため、サーバーリソース不足の解消と、HP動線・レイアウトの再構成を行い利用者目線のレイアウトへの変更をすることで情報の発信力を高める。

堺観光コンベンション協会事業補助

■観光情報サイトリニューアル

R8年度予算要求額：17,000千円

●背景

堺観光の窓口となるホームページ、「堺観光ガイド」は現行サーバーOSのサポート期間がすでに終了し、2028年6月にOSが完全に停止するため、OSの更新が必要となっている。

●事業内容

○堺観光の窓口となるホームページのOSの更新。
○メディア等で取り上げられたトピックに関連するページにアクセスが集中するとサーバーがダウンする状況にあり、サーバーリソース不足の解消。
○スマートフォンでの閲覧が大半を占める状況下であり、HP動線・レイアウトの再構成。

●期待される効果

○メディア等で取り上げられ、注目が集まっている絶好のタイミングでの情報発信の機会損失の回避。
○利用者目線のレイアウトへの変更をすることで、情報の発信力を高める。

堺観光コンベンション協会事業補助

堺市 SAKAI CITY

■気球を活用した観光誘客・周遊促進事業　R8年度予算要求額：18,360千円

●背景

気球を活用した堺観光を活性化する事業の推進のため、令和7年度補正予算によりガス気球を活用した堺観光活性化事業として「気球のりば観光案内所」の運営を開始。令和8年度も継続して「気球のりば観光案内所」の運営や気球を含めた観光ガイド、観光プロモーションを実施。

●事業内容

令和8年度も継続して「気球のりば観光案内所」の運営を行い、気球を含めた観光ガイド、観光プロモーションを実施。

●期待される効果

国内外から多くの観光客が堺に関心を持ち、来訪する機会を捉え、気球以外の堺の多彩な魅力をそれぞれのニーズに応じて提案・発信することで、堺の観光に厚みを持たせ、市内周遊の促進、滞在時間の延伸に繋げる。

令和8年度　事務事業予算要求シート（1）

					要求区分	新規・拡充
一般会計					事務事業分類	A　一般事務事業
事務事業名	観光受入環境整備事業				事業番号	008-077
担当部署名	文化観光	局	観光	部	観光推進	課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2030	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(1) 類いまれな歴史文化資源の継承と観光地としての魅力の向上
			有	取組の方向性	②魅力ある地域資源を活かした優良な観光コンテンツの創出と充実		
		寄与するKPI	有・無	指標名	世界遺産・大仙公園エリア、環濠エリア、堺東駅及び堺駅・堺旧港周辺の来訪者数		
			有	現状値	848万人（2024年度）	目標値	1200万人(2030年度)
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑻働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9
			有	取組	観光客の受け入れ環境の整備推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	―		
			無	現状値	―	目標値	―

2	関連計画	堺観光戦略		
3	事業開始年度	平成　29　年度	点検対象年度	令和　12　年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）			

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁		
6	事業の対象	本市への来訪者及び市民	対象数	単位
			―	―
7	事業の目的	来訪者が安心して快適に移動・滞在・観光することができる環境を提供することで、本市への訪問を促進するとともに、満足度を高め、リピーターの増加を図る。		
8	事業内容	・大仙公園エリア及び環濠エリアを中心に、来訪者が快適に滞在、周遊するための受入環境を整備。 ・国内外の観光客が気軽に利用できる無料公衆無線LAN「Osaka Free Wi－Fi」の整備・維持管理。 ・観光案内サインの維持管理。 ・神社仏閣を対象に宿坊施設整備に係る補助事業を実施。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先	公益社団法人シルバー人材センター、NTTファイナンス株式会社、NTTコミュニケーションズ株式会社等		
10	公民連携・協働事業	Park-PFI制度を活用した大仙公園内への飲食・物販施設の整備		

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

				実績	実績見込み	目標	目標　点検対象年度
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	重点エリア（世界遺産エリア、環濠エリア、堺東エリア、堺ベイエリア）	万人	目標値	–	–	1,000	1,200
			実績値	848	890		
			達成率	–	–		
	当該指標を選定した理由	堺の魅力発信や誘客プロモーションを通じて観光客数が増加することは本事業の目的に寄与すると考えられるため。また、堺市基本計画及び堺観光戦略の期間が満了し、新たな計画等が策定されるため、KPIと本事業の成果指標を合わせるもの。					
	目標値の設定根拠・算出方法	携帯電話事業者の位置情報ビッグデータに基づく全人口推計（拡大推計）					

				実績	実績見込み	目標
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		令和6年度	令和7年度	令和8年度
	宿坊施設整備支援補助金件数	箇所	目標値	-	-	4
			実績値	-	-	
			達成率	–	–	
	当該指標を選定した理由	宿坊施設整備のため神社仏閣への補助金交付を通して、市内の宿泊施設を整備することで、本市への観光誘客及び長期滞在を図ることができるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	市内に4か所程度、宿坊施設を整備することで、面的な取り組みが可能となり、より効果的な観光施策を実施することが可能となるため				

令和8年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	観光受入環境整備事業	事業番号	008-077

Ⅲ．令和8年度予算要求額

事業コスト　（単位：千円）

No.	項　目		令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 予算	令和8年度 予算要求
13	事業費（a）		4,116	18,158	36,102	8,192	35,232
	財源内訳	国支出金					
		府支出金		8,159			
		市債					
		その他（ 国際文化観光基金、広告収入 ）	660	660	22,138	2,160	12,378
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	3,456	9,339	13,964	6,032	22,854

事業費の内訳　（単位：千円）

No.		主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
14	事業費内訳	宿坊施設整備支援補助金	R7	予算	0	0	翻訳料	R7	予算	54	54
			R8	予算	20,000	20,000		R8	予算	54	54
		観光案内サイン新設・更新・撤去等業務	R7	予算	450	0	謝礼金（枠）	R7	予算	51	51
			R8	予算	1,537	1,189		R8	予算	100	100
		観光案内サイン維持管理業務委託料	R7	予算	463	463	その他保険料	R7	予算	25	25
			R8	予算	519	519		R8	予算	25	25
		通信運搬費	R7	予算	1,111	1,111	世界遺産・気球シャトルバス事業	R7	予算	0	0
			R8	予算	919	919		R8	予算	12,030	0
		電気使用料	R7	予算	35	35	その他(使用料及び賃借料・備品購入費等)	R7	予算	6,003	4,293
			R8	予算	45	45		R8	予算	3	3

債務負担行為　（単位：千円）

No.	期間		要求額	
15	期間	R　～　R	要求額	

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

No.		
16	R7まで	・21階展望ロビーにデジタルサイネージを設置し、来訪者に堺観光への興味を持ってもらうことで周遊を促す。 ・R6年度に引き続き、観光案内サインやOsaka Free Wi-Fiなどの設備を維持管理する。 ・環濠エリア北部地区にある歴史的建築物等の利活用を進めることで、堺市への誘客及び長時間滞在を図る。
	R8	・R7年度に引き続き、観光案内サインやOsaka Free Wi-Fiなどの設備を維持管理する。 ・宿坊施設整備の支援を行うことで宿泊を伴う誘客を図る。 ・世界遺産・気球シャトルバスの運行によりエリア間周遊を促す。
	R9以降	・R8年度に引き続き宿坊施設整備支援を行い、宿泊を伴う誘客を図る。 ・世界遺産・気球シャトルバスの運行を継続し、エリア間周遊を促す。

Ⅴ．要求のポイント

No.		
17	要求のポイント	・宿坊施設整備支援補助金交付を通して、市内の宿泊施設を整備することで、本市への観光誘客及び長期滞在を図る。 ・世界遺産・気球シャトルバスを運行し、エリア間周遊を図る。

宿坊施設整備支援補助金

堺市
SAKAI CITY

R8年度予算要求額：20,000千円

●背景

環濠エリアには、古くから続く歴史の中で多くの神社仏閣が残っているが、宿坊体験のできる神社仏閣がない。令和7年5月に複数の神社仏閣にヒアリングしたところ運営面や整備費用に課題があることが判明したため、宿坊施設の整備を推進するために実施するもの。

●事業内容

堺市内の神社仏閣を対象に宿泊事業を開始するために必要な設備整備及び備品調達に対し、1件あたり最大5,000千円（補助率1/2）の補助を実施する。

・客室の整備
・浴室の整備
・トイレの整備
・布団、ベッド等の寝具の購入
・その他消耗品等

●期待される効果

宿坊施設の整備により、インバウンドの誘客を図り、宿泊に伴う飲食等の消費を図ることができる。また、近年は堺刃物がインバウンドに人気であるが、周遊につながっていないという課題に対しても本事業により宿泊観光を推進することができるため、滞在時間の延長につながり、周遊にも期待できる

観光受入環境整備事業

堺市 SAKAI CITY

■世界遺産・気球シャトルバス事業

R8年度予算要求額：12,030千円

●背景

気球を活用した堺観光を活性化する事業の推進のため、気球発着場（大仙公園）へのアクセスの改善、大仙公園エリアから堺市内（特に環濠エリア）への周遊促進が課題となっている。

●事業内容

大仙公園～さかい利晶の杜～堺駅の移動手段として無料シャトルバスを運行し、気球へのさらなる誘客に加えて、大仙公園・さかい利晶の杜をそれぞれ起点として大仙公園エリア、環濠エリアを結ぶ。

●期待される効果

大仙公園とさかい利晶の杜、堺駅を結ぶ移動手段を整備することで、気球搭乗者のさらなる獲得と、百舌鳥古墳群と都心・環濠エリアとの周遊を促進する。

令和8年度　事務事業予算要求シート（1）

						要求区分	新規・拡充
一般会計						事務事業分類	A　一般事務事業
事務事業名	観光魅力創造・発信事業					事業番号	008-088
担当部署名	文化観光	局	観光	部	観光推進	課	

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2030	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(1) 類いまれな歴史文化資源の継承と観光地としての魅力の向上
			有	取組の方向性	②魅力ある地域資源を活かした優良な観光コンテンツの創出と充実		
		寄与するKPI	有・無	指標名	世界遺産・大仙公園エリア、環濠エリア、堺東駅及び堺駅・堺旧港周辺の来訪者数		
			有	現状値	848万人（2024年度）	目標値	1200万人(2030年度)
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑻働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9
			有	取組	観光消費の促進をめざす戦略的な観光施策の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	―		
			無	現状値	―	目標値	―

2	関連計画	堺観光戦略		
3	事業開始年度	平成　30　年度	点検対象年度	令和　12　年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）			

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、実行委員会		
6	事業の対象	本市への来訪者及び市民	対象数	単位
			–	–
7	事業の目的	堺が持つ類いまれな歴史や伝統、文化を最大限活かしながら、新たな観光魅力の創出や広域的かつ積極的な情報発信及びプロモーションを実施し、本市への誘客、市内周遊を促進することで、観光面での地域経済の活性化を図る。		
8	事業内容	・鉄道事業者と連携した誘客及び周遊促進事業の実施 ・歴史街道推進協議会、西高野街道観光キャンペーン協議会、竹内街道・横大路（大道）活性化実行委員会等への参画 ・南河内エリアをはじめとした周辺自治体と連携した広域的な周遊促進事業の実施 ・堺フィルムオフィスによる映像作品を通じた都市魅力の発信 ・観光庁やJNTOなど、各種団体と連携し、情報共有や発信		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先	堺フィルムコミッション実行委員会　等		
10	公民連携・協働事業	鉄道事業者と連携した周遊促進事業の実施		

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

				実績	実績見込み	目標	目標　点検対象年度
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	重点エリア（世界遺産エリア、環濠エリア、堺東エリア、堺ベイエリア）	万人	目標値	–	–	1,000	1,200
			実績値	848	890		
			達成率	–	–		
	当該指標を選定した理由	堺の魅力発信や誘客プロモーションを通じて観光客数が増加することは本事業の目的に寄与すると考えられるため。また、堺市基本計画及び堺観光戦略の期間が満了し、新たな計画等が策定されるため、KPIと本事業の成果指標を合わせるもの。					
	目標値の設定根拠・算出方法	携帯電話事業者の位置情報ビッグデータに基づく全人口推計（拡大推計）					

				実績	実績見込み	目標
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		令和6年度	令和7年度	令和8年度
	他都市と連携した周遊事業実施回数	件	目標値	7	8	8
			実績値	7	8	
			達成率	100%	100%	
	当該指標を選定した理由	他都市と連携した観光周遊を実施することで、広域的な誘客・周遊が見込めるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	過去実績から算出				

令和8年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	観光魅力創造・発信事業	事業番号	008-088

Ⅲ．令和8年度予算要求額

事業コスト（単位：千円）

		項目	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 予算	令和8年度 予算要求
13		事業費（a）	49,429	15,647	27,265	56,218	33,216
	財源内訳	国支出金	24,808	0	0	38,800	0
		府支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他（　国際文化観光基金等　）	8,068	0	0	2,301	2,830
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
		一般財源	16,553	15,647	27,265	15,117	30,386

事業費の内訳（単位：千円）

		主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
14	事業費内訳	大屋根リングの活用	R7	予算	0	0	大阪デスティネーションキャンペーン協議会負担金	R7	予算	4,828	4,828
			R8	予算	8,000	8,000		R8	予算	1,380	1,380
		環濠エリアでのイベント助成	R7	予算	0	0	関西国際空港内広域観光案内推進協議会分担金	R7	予算	800	800
			R8	予算	4,500	4,500		R8	予算	800	800
		堺フィルムコミッション実行委員会負担金	R7	予算	3,000	699	国際観光振興機構会費	R7	予算	500	500
			R8	予算	3,000	3,000		R8	予算	500	500
		JR沿線周遊施策	R7	予算	0	0	歴史街道推進協議会会費	R7	予算	500	500
			R8	予算	2,830	0		R8	予算	500	500
		万博レガシーを活用した堺市の魅力発信と誘客施策	R7	予算	0	0	その他（報償費、旅費、使用料及び賃借料、負担金等）	R7	予算	46,590	7,790
			R8	予算	2,400	2,400		R8	予算	9,306	9,306

債務負担行為（単位：千円）

15	期間	R　～　R	要求額	

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	・鉄道事業者や近隣自治体と連携した地域を周遊するデジタルスタンプラリーの実施や、旅行事業者と連携した旅行商品造成・販売促進業務等を実施し、観光誘客及び市内周遊を促進した。 ・インバウンドを含む大阪・関西万博来場者に対し、効果的に観光情報等を発信することにより、堺市への誘客、市内周遊、長期滞在を促進し、万博効果の最大化を図る。
	R8	・大阪・関西万博に向けて実施した取組を一過性のものとせず、造成した観光コンテンツ等をさらに磨き上げ、情報発信等を行い、堺市への誘客、市内周遊、長期滞在を促進する。 ・世界遺産である仁徳天皇陵古墳の認知度や興味・関心が高いこと、また万博期間中の世界遺産エリアへの来訪が好調であったことから、世界遺産エリアから市内全域へと段階的に観光誘客の効果を波及させる。
	R9以降	・造成した観光コンテンツ等をさらに磨き上げ、情報発信等を行い、堺市への誘客、市内周遊、長期滞在を促進する。 ・世界遺産である仁徳天皇陵古墳の認知度や興味・関心が高いこと、また万博期間中の世界遺産エリアへの来訪が好調であったことから、世界遺産エリアから市内全域へと段階的に観光誘客の効果を波及させる。

Ⅴ．要求のポイント

17 要求のポイント

【新規・拡充事業】
○万博レガシー関連事業
①大屋根リングの活用
　大阪・関西万博のシンボルである「大屋根リング」を再利用し、展示物及び配布物の制作に活用。
②万博レガシーを活用した堺市の魅力発信と誘客施策
　万博で発信した堺のコンテンツを大仙公園で再構成したイベントを開催。万博会場等で展示・利用されたアーティスト茶器を使った呈茶体験、万博で出展した和菓子店の実演・販売など。
○JR沿線周遊施策
　大鳥大社に訪れた来訪者を大仙公園エリアに誘客し、市内周遊を促進するため、大仙公園のガス気球事業を軸とし、阪和線沿線などJR沿線のスポットを周遊するスタンプラリーを実施する。
○環濠エリアでのイベント助成
　環濠エリアに市外来訪者を多数誘客することにより、賑わいを創出し、観光地としての認知度向上を図り、環濠エリアでのイベントを継続的・安定的に実施できる環境にしていくため、イベント実施に係る費用を助成する。

【その他】
○大阪デスティネーションキャンペーン（以下「DC」という。）
　JR6社（北海道・東日本・東海・西日本・四国・九州）、大阪府・市との連携により全国規模の観光キャンペーンを実施。令和8年度は、アフターDCに合わせた広告プロモーションを実施する。

観光魅力創造・発信事業

■大屋根リングの活用事業

R8年度予算要求額：12,000千円

●背景

大阪・関西万博のシンボルである「大屋根リング」は閉幕後の再利用について大きな注目が集まっており、リングの再利用についての公募が予定されている。当該公募に応募し、大屋根リングを有効活用することにより、市内への誘客に繋げたい。

●事業内容

①展示物の制作
大屋根リングと仁徳天皇陵古墳との大きさを比較したデザインの展示物を制作する。

②記念品の制作
前方後円墳型、気球型、鉄炮型などの複数のデザイン、かつ、大屋根リングが使用されていることを明示する記念品を制作する。複数か所で配布することで周遊に繋げる。

③移動式茶室の制作
茶の湯文化のさらなる発展を図るとともに、市内観光施設等に設置し、市内周遊を促進するために、移動式茶室を制作する。

●期待される効果

大きな注目を集める「大屋根リングの再利用」について万博レガシーとして発信し、これまで以上に来訪を促すための訴求範囲拡大を図り、万博のレガシーを巡る体験を提供することで、広域からの誘客を促進する効果を期待できる。

観光魅力創造・発信事業

堺市 SAKAI CITY

■環濠エリアへの周遊促進

R8年度予算要求額：4,500千円

●背景

○イベント実施はSNSなどで取り上げられやすく、イベント自体の集客のみならず広報効果が高い。特にSNSでの発信はリアルな情報発信として潜在的な観光客への強い訴求力となる。
○堺戎島DOCKでは、民間主導でのイベントが実施されているが、収益だけでの運営が難しい場合が多く、環濠エリア・堺戎島DOCKの知名度・認知度が未だ十分でないため集客・収益の見込みが立ちづらい状況。

●事業内容

環濠エリアに市外来訪者を多数誘客することにより、賑わいを創出し、観光地としての認知度向上を図り、同エリアでのイベントを継続的・安定的に実施できる環境にしていくため、イベント実施に係る費用を助成する。

●期待される効果

イベント開催により地域のブランドイメージを確立・定着させ、本市の課題として取り組んでいる「観光地としての認知度向上」に繋げる。

観光魅力創造・発信事業

堺市 SAKAI CITY

■JR沿線周遊施策

R8年度予算要求額：2,830千円

●背景

大鳥大社は「先を見通せる御守り」がSNSで話題となり、国内の来訪者やインバウンドが多数訪れている。
同社に訪れた来訪者を大仙公園エリアに誘客し、市内周遊を促進する。

●事業内容

〇JR西日本が提供する「WESTERアプリ」（ダウンロード数約400万）のスタンプラリー機能を活用し、
　堺市内の観光スポット等を周遊し景品が獲得できるデジタルスタンプラリーを実施する。
○一部のスタンプ取得について、有料入館を条件とすることにより観光消費を促す。
〇JR 西日本管内の多数のアプリ利用者や、JR西日本HPの特設サイトなどで情報発信し、広範囲なユーザーにPRを行う。

●期待される効果

市内の観光施設・飲食店などの周遊を促進することでKPI（消費額単価）達成に寄与する。

令和8年度　事務事業予算要求シート（1）

		要求区分	新規・拡充
一般会計		事務事業分類	A　一般事務事業
事務事業名	ガス気球運行事業(観光推進課)	事業番号	008-099
担当部署名	文化観光 局 / 観光 部 / 観光推進 課		

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2030	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(1) 類いまれな歴史文化資源の継承と観光地としての魅力の向上	
			有	取組の方向性	③来訪者の満足度を高めるおもてなし環境の充実			
		寄与するKPI	有・無	指標名	世界遺産・大仙公園エリア、環濠エリア、堺東駅及び堺駅・堺旧港周辺の来訪者数			
			有	現状値	848万人（2024年度）	目標値	1200万人(2030年度)	
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑻働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9	
			有	取組	観光消費の促進をめざす戦略的な観光施策の推進			
		寄与するKPI	有・無	指標名	―			
			無	現状値	―	目標値	―	

2	関連計画	堺観光戦略、堺・世界遺産魅力創造ロードマップ		
3	事業開始年度	令和　7　年度	点検対象年度	令和　12　年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	–		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、民間企業		
6	事業の対象	国内外の観光客、堺市民	対象数	単位
			–	–
7	事業の目的	上空から百舌鳥古墳群や堺の街並みを眺望できるガス気球を運行することで、百舌鳥・古市古墳群の歴史的な価値や雄大さなどの魅力を伝達し、世界遺産の保全と未来への継承につなげる。		
8	事業内容 ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	・古墳群を次世代に継承するため、こどもたちに気球への搭乗体験の機会を提供		
9	主な支出先	ガス気球運営事業者		
10	公民連携・協働事業			

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

				実績	実績見込み	目標	目標　点検対象年度
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	重点エリア（世界遺産エリア、環濠エリア、堺東エリア、堺ベイエリア）	万人	目標値	–	–	1,000	1,200
			実績値	848	890		
			達成率	–	–		
	当該指標を選定した理由	堺の魅力発信や誘客プロモーションを通じて観光客数が増加することは本事業の目的に寄与すると考えられるため。また、堺市基本計画及び堺観光戦略の期間が満了し、新たな計画等が策定されるため、KPIと本事業の成果指標を合わせるもの。					
	目標値の設定根拠・算出方法	携帯電話事業者の位置情報ビッグデータに基づく全人口推計（拡大推計）					

				実績	実績見込み	目標
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		令和6年度	令和7年度	令和8年度
	こども気球体験利用者数	人	目標値	-	6,488	22,221
			実績値	-	-	
			達成率	–	–	
	当該指標を選定した理由	気球の搭乗者が増加することで、古墳群の価値理解を深めることに寄与すると考えられるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	気球運行事業者による予測				

令和8年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	ガス気球運行事業(観光推進課)	事業番号	008-099

Ⅲ．令和8年度予算要求額

事業コスト （単位：千円）

	項　目	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 予算	令和8年度 予算要求
13	事業費（a）	0	0	0	39,181	38,710
	財源内訳 国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（基金・寄付金・事業者納付金）				39,181	38,710
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源				0	0

事業費の内訳 （単位：千円）

	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
14 事業費内訳	こども気球体験事業負担金	R7	予算	6,164	0		R7	予算		
		R8	予算	21,101	0		R8	予算		
	世界遺産保全活用推進基金積立金（観光）	R7	予算	33,017	0		R7	予算		
		R8	予算	17,609	0		R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		

債務負担行為 （単位：千円）

	期間		要求額	
15	期間	R　～　R	要求額	

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	・こども気球体験事業実施 ※観光企画課所管の「ガス気球運行事業（観光企画課）」にて実施
	R8	・こども気球体験事業実施
	R9以降	・こども気球体験事業実施

Ⅴ．要求のポイント

17	要求のポイント	・百舌鳥・古市古墳群を適切に保全し、未来へ継承するうえで、こどもの気球体験の機会を提供するために必要な経費を要求。

令和8年度　事務事業予算要求シート（1）

一般会計		要求区分	新規・拡充
		事務事業分類	A　一般事務事業
事務事業名	スポーツ推進事業	事業番号	008-091
担当部署名	文化観光 局　スポーツ 部　スポーツ推進 課		

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2030	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well－being～	施策	(5) 生涯にわたる多彩なスポーティブライフの実現	
			有	取組の方向性	①ライフステージに応じたスポーツ・運動習慣の定着			
		寄与するKPI	有・無	指標名	スポーツ・運動習慣者割合（1回30分以上の運動を週2回以上行う者）			
			有	現状値	56.3%（2024年度）	目標値	70.0%（2030年度）	
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑶すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4	
			有	取組	スポーツ・運動習慣定着による健康増進			
		寄与するKPI	有・無	指標名	―			
			無	現状値	―	目標値	―	
2	関連計画	堺市スポーツ推進プラン						
3	事業開始年度	昭和　22　年度		点検対象年度	令和　12　年度			
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	スポーツ基本法、堺市スポーツ推進委員に関する規則						

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、（公財）堺市教育スポーツ振興事業団、総合型地域スポーツクラブ、地域団体		
6	事業の対象	市民	対象数：約81万	単位：人
7	事業の目的	ライフスタイルに応じて、年齢や性別、国籍、障害の有無にかかわらず、すべての人が生涯にわたりスポーツを身近なものとして親しむことができ、豊かで健やかな生活を過ごせる地域社会の実現		
8	事業内容	○ 総合型地域スポーツクラブ ・新たなクラブの創設支援及び既存クラブの活動拡大や安定した運営体制の構築を支援することで、キーパーソンとなる人材や指導者の確保、運営ノウハウを蓄積し、地域で多様なスポーツ・運動を楽しめる環境を創出する。 ○ 堺市民オリンピック ・毎年スポーツの日に市民スポーツの祭典を実施することで、市民の健康増進、体力の向上、スポーツマンシップの向上を図る。 ○トップレベルチームとの連携 ・日本製鉄堺ブレイザーズ、オリックス・バファローズ、セレッソ大阪等のトップレベルチームと連携し、各チームの公式戦において市民優待観戦企画を実施することで、市民がトップレベルのスポーツに触れる機会を提供する。また、総合型地域スポーツクラブ等が実施するスポーツ教室に講師を派遣。 ○ スポーツ推進委員を通じた地域スポーツ活動の推進 ・地域のスポーツ推進の中心的存在として実技指導や助言を行っているスポーツ推進委員に各種研修や主催大会を実施することで、資質向上を図る。 ○ スポーツ・運動習慣者の増加 ・プロの指導者を招聘したアーバンスポーツ体験教室を実施し、若年層と親子のスポーツ・運動習慣者の増加を図る。 ・運動機会の増加を図るため、ショッピング中にできる「ながら」運動であり、低負荷でもあるウォーキングイベントを実施し、子育て世代と高齢者のスポーツ・運動習慣者の増加を図る。 ○ ワールドマスターズゲームズ2027関西 ・大会PR及びエントリー受付を行い、開催に向けた準備を行う。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先	（公財）堺市教育スポーツ振興事業団、堺市民オリンピック委員会、総合型地域スポーツクラブ、WMG2021関西堺市実行委員会		
10	公民連携・協働事業	総合型地域スポーツクラブによる地域スポーツ活動の実施、トップレベルチームとの連携によるスポーツ教室の開催、大学と連携した運動習慣化事業の実施		

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

				実績	実績見込み	目標	目標　点検対象年度
	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
11	堺市民オリンピック参加者数	人	目標値	7,000	7,000	6,000	6,000
			実績値	5,831	6,239		
			達成率	83%	89%		
	当該指標を選定した理由	市内全域を対象としてスポーツを通じた地域交流の場となっている本イベントの参加者数は地域スポーツ活動の状況を示す指標となるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	市の人口が減少傾向にあることを考慮し、参加者数の維持を目標とする					

				実績	実績見込み	目標
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		令和6年度	令和7年度	令和8年度
12	総合型地域スポーツクラブ会員数（設立準備団体含む）	人	目標値	700	700	700
			実績値	899	899	
			達成率	128%	128%	
	当該指標を選定した理由	幅広い年代の市民が身近な地域でスポーツに親しむことができるクラブであり、会員数は習慣的に運動を行う市民が増加していることを示す指標となるため				
	目標値の設定根拠・算出方法	各区1クラブの設置をめざし、安定的運営のため各クラブ100人の会員獲得を目標とする（7クラブ×100人）				

令和8年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	スポーツ推進事業	事業番号	008-091

Ⅲ．令和8年度予算要求額

事業コスト　（単位：千円）

13	項　目	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 予算	令和8年度 予算要求
	事業費（a）	65,782	67,210	89,643	90,434	114,207
財源内訳	国支出金	936	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（日本スポーツ振興センター助成金、基金繰入金）	6,366	7,749	21,482	26,264	16,880
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	
	一般財源	58,480	59,461	68,161	64,170	97,327

事業費の内訳　（単位：千円）

14 事業費内訳 主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
堺市教育スポーツ振興事業団・堺市スポーツ協会・堺市スポーツ少年団補助金	R7	予算	34,907	31,609	総合型地域スポーツクラブ推進ネットワーク堺負担金	R7	予算	1,000	1,000
	R8	予算	34,117	34,117		R8	予算	1,000	1,000
堺市民オリンピック開催負担金	R7	予算	14,000	14,000	ワールドマスターズゲームズ2027関西開催準備負担金【拡充】	R7	予算	3,363	3,363
	R8	予算	14,000	14,000		R8	予算	34,438	34,438
総合型地域スポーツクラブ運営・創設支援補助金	R7	予算	10,368	0	親子で楽しむアーバンスポーツ体験教室【新規】	R7	予算	0	0
	R8	予算	11,448	0		R8	予算	3,300	3,300
堺市学生スポーツ競技大会出場奨励金	R7	予算	5,000	0	ウォーキングイベント事業【新規】	R7	予算	0	0
	R8	予算	5,000	0		R8	予算	820	820
日本製鉄堺ブレイザーズユニフォーム市章掲載等PR料	R7	予算	4,000	4,000	その他	R7	予算	17,796	10,198
	R8	予算	4,000	4,000		R8	予算	6,084	5,652

債務負担行為　（単位：千円）

15	期間	R　～　R	要求額	

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16		
	R7まで	・堺市民オリンピックの実施 ・スポーツ推進委員研修会の開催 ・総合型地域スポーツクラブの支援 ・トップレベルチームと連携したスポーツイベント等の実施 ・アーバンスポーツ、ヨガ等の体験会の実施 ・企業版ふるさと納税を活用した「堺ゆかりのスポーツチームとの連携事業」の実施と寄附募集の継続 ・ワールドマスターズゲームズ2027関西のPR ・『第4次堺市スポーツ推進プラン』策定（計画期間：令和8年4月～令和13年3月）
	R8	・堺市民オリンピックの実施 ・ワールドマスターズゲームズ2027関西のPR及びエントリー受付 ・総合型地域スポーツクラブの支援 ・トップレベルチームと連携したスポーツイベント等の実施 ・アーバンスポーツ体験会、ウォーキングイベント等の実施。 ・企業版ふるさと納税を活用した「堺ゆかりのスポーツチームとの連携事業」の実施と寄附募集の継続
	R9以降	・ワールドマスターズゲームズ2027関西の開催 ・堺市民オリンピックの実施 ・総合型地域スポーツクラブの支援 ・トップレベルチームと連携したスポーツイベント等の実施 ・アーバンスポーツ体験会、ウォーキングイベント等の実施。 ・企業版ふるさと納税を活用した「堺ゆかりのスポーツチームとの連携事業」の実施と寄附募集の継続

Ⅴ．要求のポイント

17	要求のポイント	
		【ワールドマスターズゲームズ2027関西】 令和9年度に開催するワールドマスターズゲームズ2027関西には5万人が参加することが想定されている。この好機を最大限に活かし、多くの方に本市に訪れていただき、その魅力を体感してもらうため、大会PRと市内周遊促進に繋がる取組を行う。また、円滑な大会運営に必要な準備を行う。 【スポーツ・運動習慣者の増加に向けた取組】 スポーツ・運動習慣者割合を向上させたい世代へ効果的に働きかける取組（以下2つの取組）を実施する。 1.アーバンスポーツ体験教室（若年層、子育て世代向け） ・プロの指導者を招聘し、未経験の参加者でも気軽に参加ができ成功体験を得やすい環境を整え満足度の向上を図る。 ・体験教室で興味を持った市民が自主的にアーバンスポーツを続け、習慣化につながる施設・情報を発信する。 2.ウォーキングイベント（子育て世代、高齢者向け） ・ショッピングモールと連携し、ショッピング中に「ながら」ででき、低負荷で継続しやすい運動のウォーキングイベントを実施する。 ・イベント実施後もショッピングモール内に距離数や健康情報などウォーキングに関する情報を発信し、運動の習慣化につなげる。

ワールドマスターズゲームズ2027関西
開催準備負担金（拡充）

堺市
SAKAI CITY

○趣旨・目的

ワールドマスターズゲームズ2027関西において、堺市で開催するサッカー・フットサル競技会（以下「競技会」という。）の円滑な運営に必要な準備を行う。また、競技会の開催を通じ、文化芸術・スポーツに触れる機会の充実や国際交流の促進等により、活気と魅力にあふれる都市をめざす。

大会メインビジュアル

堺市が開催するサッカー・フットサル競技会場「J-GREEN堺」

○事業概要

国内外からの来堺者約1万人をメインターゲットに、堺が誇る歴史・文化や大阪・関西万博のレガシーを活用した商品・コンテンツのプロモーションを効果的に実施し、堺市の認知度向上及びワールドマスターズ2027関西の機運醸成を図る。

（取組）

・ワールドマスターズゲームズ2027関西のサッカー・フットサル競技会の開催準備に伴う物品調達
・目標参加者数6,000人の獲得及び大会ボランティア1,000人の確保に向けた広報活動及び従事者への研修
・大会期間中における、観光情報や交通情報等の発信
・大阪府下で唯一設置を許可されているマスターズビレッジの優位性を最大限に活かした施策を展開

事業費：99,995千円（内：65,557千円は組織委員会に預入している開催標準経費を使用する）

親子で楽しむアーバンスポーツ体験教室（新規）

○趣旨・目的

　場所を選ばず楽しむことができ、若年層に人気の高いアーバンスポーツの体験教室を親子を対象に開催する。また、大型商業施設等の様々な世代の人が集う場所で実施することで、年齢や性別に関わらず多くの来場者にアーバンスポーツの魅力を伝え、新たにスポーツを始めるための機会を提供する。

令和6年度　SAKAIアーバンスポーツ体験会の様子

○事業概要

　初めてアーバンスポーツに触れる親子が一緒に楽しめる空間を演出するため、プロのアーバンスポーツ指導者を招聘し未経験者でも成功体験を得やすい環境下で体験教室を開催し、満足度を高める工夫を行う。また、堺市内でアーバンスポーツが楽しめる施設情報の発信やマナー啓発活動を行い、体験教室で興味を持った親子が自主的にアーバンスポーツを継続できる環境に誘導し、市民のスポーツ・運動習慣者割合の向上を図る。

（取組）
・プロアーバンスポーツのプレイヤーによる実演と体験教室の開催
・堺市内でアーバンスポーツが楽しめる施設情報の発信
・アーバンスポーツを楽しむ上でのマナー講座　等

事業費：3,300千円
内　訳：委託料…2,400千円、会場借上げ料・設備使用料…500千円、印刷製本費…100千円、
　　　　消耗品費…100千円、保険料…200千円

ウォーキングイベント事業

堺市 SAKAI CITY

●背景

本市では、子育て世代（30～49歳）の「スポーツ・運動習慣者（1回30分以上の運動を週2回以上行うの人）」の割合が、全年代で最も低い。その理由として、「忙しくて時間がない」、「育児が忙しいから」が約半数近くを占め、仕事と子育て等が大きな要因となっている。

一方、高齢者（60 歳以上）では、「スポーツ・運動習慣者」の割合は高いものの、運動をしない理由として、「体力が続かない」、「病気・けが」といった身体的な問題が大きな要因となっている。

●目的

年齢やライフステージに応じた、低負荷で実施しやすい取組（ウォーキング）を推進することで、市民の運動習慣の定着を図る。

子育て世代：「すきま時間」にできる運動や通勤中やショッピング中にできる「ながら」運動の普及

高　齢　者：低負荷で継続しやすい運動の普及

●事業内容

様々な世代の人が集う大型商業施設などで、ウォーキングイベントを実施。宝探しやスタンプラリーなどゲーム感覚で楽しめる要素を盛り込む。さらに、一定の成果（ex.館内の指定されたスポットを全て回り、かつ5,000歩以上歩く等）を挙げた参加者に対し、景品を渡すことで、参加意欲の向上を図る。

ターゲット層：親子、高齢者など

実施時期：8月、12月など長期休暇時の休日

事業費：820千円（内訳：会場借上費：100千円、委託料：500千円、
使用料及び賃借料：200千円、保険料：20千円）

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計		要求区分	新規・拡充
		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	堺茶の湯まちづくり事業	事業番号	008-089
担当部署名	文化観光 局 / 文化国際 部 / 文化 課		

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2030	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(1) 類いまれな歴史文化資源の継承と観光地としての魅力の向上
			有	取組の方向性	①類いまれな歴史文化資源の継承と磨き上げ		
		寄与するKPI	有・無	指標名	文化芸術を鑑賞した又は文化芸術活動を行ったと答えた人の割合（概ね１年以内）		
			有	現状値	48.5%（2025年度）	目標値	60.0%(2030年度)
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑻働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9
			有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信		
		寄与するKPI	有・無	指標名	―		
			無	現状値	―	目標値	―

2	関連計画	堺文化芸術推進計画		
3	事業開始年度	令和 元 年度	点検対象年度	令和 12 年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	文化芸術基本法、堺茶の湯まちづくり条例		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁		
6	事業の対象	一般市民	対象数：約81万	単位：人
7	事業の目的	茶の湯の文化を振興し、市民の豊かな心の醸成と都市魅力の向上を図る。		
8	事業内容	市民が身近な場所で茶の湯に触れられる機会を提供するため、市内各所で呈茶イベント等を開催する。 【協力】 堺市内茶道団体（表千家同門会大阪支部、裏千家淡交会堺支部、武者小路千家大阪官休会堺支部）		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	-		
9	主な支出先	委託事業の受注者		
10	公民連携・協働事業	-		

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標	堺の持つ歴史文化資源である茶の湯の文化を通じたシビックプライドの醸成
	当該目標を設定した理由	千利休が生まれた堺が誇る茶の湯文化の振興が、都市魅力の発信や向上に繋がると考えるため。
	目標に対する実績	

	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度
12	茶会の参加人数	人	目標値	180	130	700
			実績値	195	450	
			達成率	108%	346%	
	当該指標を選定した理由	より多くの方に事業参加いただくことが、茶の湯文化の振興に繋がると考えるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	茶会の参加者				

令和8年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	堺茶の湯まちづくり事業	事業番号	008-089

Ⅲ．令和8年度予算要求額

事業コスト　（単位：千円）

	項目	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 予算	令和8年度 予算要求
13	事業費（a）	390	220	381	1,539	13,000
財源内訳	国支出金					4,214
	府支出金					
	市債					
	その他（　はなみどり基金　）					4,000
	受益者負担金(使用料、手数料等)					350
	一般財源	390	220	381	1,539	4,436

事業費の内訳　（単位：千円）

14 事業費内訳 主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
報償費	R7	予算	660	660	保険料	R7	予算	0	0
	R8	予算	1,350	675		R8	予算	300	150
消耗品費	R7	予算	87	87	イベント等委託料	R7	予算	432	432
	R8	予算	378	189		R8	予算	6,150	3,075
食糧費	R7	予算	220	220	会場等借上料	R7	予算	30	30
	R8	予算	572	222		R8	予算	100	50
印刷製本費	R7	予算	55	55	設計制作委託料	R7	予算	0	0
	R8	予算	150	75		R8	予算	4,000	0
修繕料	R7	予算	55	55		R7	予算		
	R8	予算	0	0		R8	予算		

債務負担行為　（単位：千円）

15	期間	R　～　R	要求額	

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16		
	R7まで	市民に対する茶の湯文化の普及啓発を目的とした「堺おもてなし茶会」の実施が中心であったが、令和7年度は大阪・関西万博などでの、堺市外の方に対する取組機会が多かった。また、株式会社さかい新事業創造センターと連携して、「茶の湯文化×ビジネス」といった新たなアプローチを進めている。
	R8	大阪・関西万博での茶の湯事業レガシーとして、市内外を問わず広く参加を呼びかけられるような大規模茶会を大仙公園で実施するほか、堺区の限られたエリア以外でも広く発信をめざす。
	R9以降	各事業について、費用対効果を見極め、効果的効率的な運営を行う。

Ⅴ．要求のポイント

17	要求のポイント	今後も気軽に市民に茶の湯について親しんでもらえる機会を創出し、堺の持つ歴史資源である茶の湯文化について市民の意識を醸成していく。また、大屋根リングを活用した移動式茶室を制作し、これまで以上にさかい利晶の杜とも連携することで、大阪・関西万博のレガシー継承をめざす。

堺茶の湯まちづくり事業

■茶の湯を活かした万博レガシーの継承

R8年度予算要求額：8,400千円

●背景

大阪・関西万博では、開催期間を通じて本市が誇る茶の湯文化を中心とした取組を行い、その中でも春の催事として大規模の茶会イベントを実施し、約1万8千人の来場があった。
今後は、万博がもたらした盛り上がりを一過性のものではなく、地域の持続的な価値へと転換することが重要だと考えられる。

●事業内容

大仙公園において、数百人規模の大茶会「堺大茶湯（さかいおおちゃのゆ）」を実施する。
堺市茶室「伸庵」で、万博でも使用されたアーティスト茶器を用いての呈茶体験を行うほか、万博会場限定で提供されたオリジナルの和菓子などの実演販売を実施

●期待される効果

堺の強みである歴史文化だけでなく、国の登録有形文化財である「伸庵」で、現代アーティストの茶器を用いるなど、「伝統」と「革新」の融合を万博レガシーとして発信し、これまで以上に来訪を促すための訴求範囲拡大を図り、限定の和菓子などによってより消費を生み出す効果が期待される。

令和8年度　事務事業予算要求シート（1）

一般会計		要求区分	新規・拡充
		事務事業分類	A　一般事務事業
事務事業名	外事事業	事業番号	008-020
担当部署名	文化観光 局	文化国際 部	国際 課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2030	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(3) 文化芸術の振興・国際交流の強化
			有	取組の方向性	③姉妹・友好都市やアセアン諸国をはじめとする各国との国際交流の強化		
		寄与するKPI	有・無	指標名	―		
			無	現状値	―	目標値	―
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⒄パートナーシップで目標を達成しよう	ターゲット	17.17
			有	取組	外国公館・国際機関などとの連携強化、ネットワーク構築		
		寄与するKPI	有・無	指標名	―		
			無	現状値	―	目標値	―

2	関連計画	堺市国際化方針		
3	事業開始年度	平成　3　年度	点検対象年度	令和　12　年度
4	実施根拠 （根拠法令、条例等）			

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁		
6	事業の対象	海外姉妹・友好都市や歴史的・文化的につながりのある大使館・在関西総領事館・国際機関等、国際交流に興味のある市民・市内企業・大学等、本市国際化を推進する事業に関わる市職員	対象数 –	単位 –
7	事業の目的	外国人賓客等の接遇や海外に向けた本市のPR、諸外国との経済・観光等さまざまな分野での交流、外国公館や国際機関等との連携強化やネットワークを活用した国際交流の促進等、本市の国際化を推進する。		
8	事業内容	・外国人賓客への接遇及び本市への理解促進 ・海外都市等との交流、都市間連携及び本市PR ・在京大使館・在関西総領事館等に対する本市の魅力発信や連携事業の実施、ネットワークの構築・強化等 ・一般財団法人自治体国際化協会堺市支部の運営 ・JICA等と連携した国際協力の推進		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先	一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）		
10	公民連携・協働事業			

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

				実績	実績見込み	目標	目標　点検対象年度
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	外国公館等との連携事業数	件	目標値	15	18	12	12
			実績値	14	18		
			達成率	93%	100%		
	当該指標を選定した理由	当該事業の実施数が増加することで、国内外への本市PR及び都市魅力向上等につながるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	外国公館等に対して実施した市内視察やPRイベント等を計上。過年度の実績等から目標を設定。					

				実績	実績見込み	目標
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		令和6年度	令和7年度	令和8年度
	外国公館ほか諸外国等に対する本市のPR件数	件	目標値	22	21	20
			実績値	27	24	
			達成率	123%	114%	
	当該指標を選定した理由	当該事業の実施数が増加することで、国内外への本市PR及び都市魅力向上等につながるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	外国公館等への訪問等により、本市PRをした回数を計上。過年度の実績等から目標を設定。				

令和8年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	外事事業	事業番号	008-020

Ⅲ．令和8年度予算要求額

事業コスト （単位：千円）

		項　目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
13		事業費（a）	21,626	17,505	12,253	20,668	16,488
	財源内訳	国支出金					
		府支出金					
		市債					
		その他（ 基金利子収入、国際文化観光基金、宝くじ収益金 ）	21,444	17,354	11,349	16,797	11,362
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	182	151	904	3,871	5,126

事業費の内訳 （単位：千円）

		主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
14	事業費内訳	(一財)自治体国際化協会分担金	R7	予算	11,000	0	筆耕翻訳料（枠）	R7	予算	390	40
			R8	予算	11,000	0		R8	予算	40	40
		チェコ・イタリア渡航　特別旅費等【拡充】	R7	予算	0	0	その他報償費（枠）	R7	予算	357	42
			R8	予算	4,509	4,509		R8	予算	53	53
		食糧費（枠）	R7	予算	1,074	24	その他使用料及び賃借料（枠）	R7	予算	310	10
			R8	予算	24	24		R8	予算	100	10
		会場等借上料（枠）	R7	予算	1,035	0	消耗品費（枠）	R7	予算	124	19
			R8	予算	195	0		R8	予算	19	19
		自動車借上料（枠）	R7	予算	696	66	その他（普通旅費等）	R7	予算	5,682	3,670
			R8	予算	66	66		R8	予算	482	405

債務負担行為 （単位：千円）

15	期間	R　～　R	要求額	

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	大阪・関西万博関連事業、外国人賓客の接遇・外国公館等対応、在関西総領事館等との連携事業、JICA事業等への支援を実施
	R8	市長によるチェコ・イタリア渡航、大阪・関西万博レガシー関連事業、外国人賓客の接遇・外国公館等対応、在関西総領事館等との連携事業、JICA事業等への支援を実施
	R9以降	事業の継続的実施

Ⅴ．要求のポイント

17	要求のポイント	令和8年度は、既存事業の継続に加え、市長によるチェコ共和国及びイタリア共和国への渡航を予定し、トップセールスを通じて本市の魅力を海外に発信する。また、大阪・関西万博を通じて培われた経験やノウハウなどの万博レガシーを活かし、都市としての魅力や活力の向上を図るべく、事業に必要な経費を計上している。

令和8年度　事務事業予算要求シート（1）

				要求区分	新規・拡充
一般会計				事務事業分類	A　一般事務事業
事務事業名	文化財保護事業			事務事業番号	008-049
担当部署名	文化観光 局	歴史遺産活用 部		文化財 課	

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2030	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(1) 類いまれな歴史文化資源の継承と観光地としての魅力の向上
			有	取組の方向性	①類いまれな歴史文化資源の継承と磨き上げ		
		寄与するKPI	有・無	指標名	世界遺産・大仙公園エリア、環濠エリア、堺東駅及び堺駅・堺旧港周辺の来訪者数		
			有	現状値	848万人（2024年度）	目標値	1200万人(2030年度)
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	―	ターゲット	
			無	取組			
		寄与するKPI	有・無	指標名	―		
			無	現状値	―	目標値	―

2	関連計画	
3	事業開始年度	昭和　40　年度 ／ 点検対象年度：令和　12　年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	文化財保護法・大阪府文化財保護条例・堺市文化財保護条例

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁・出先機関（文化財課分室）・その他（文化財所有者・文化財保存団体）		
6	事業の対象	市内所在の指定（129件）・登録（64件）文化財および埋蔵文化財	対象数：-	単位：-
7	事業の目的	・指定文化財の恒久的な保存・保護・後継者育成・活用 ・個人住宅、兼用住宅の建設にかかる埋蔵文化財調査費用負担の軽減及び市内遺跡の調査成果の蓄積・保存・活用 ・文化財の展示・公開等による文化財保護意識の醸成		
8	事業内容	○文化財の保存・活用 ・本市所有の文化財については直接、保存・公開等を実施。本市所有以外の指定文化財については、文化財の所有者や保存団体に補助金を交付。（13件） ・9月14日から10月27日の期間で、さかい利晶の杜企画展「在りし日の堺-中世堺の都市景観をたどる-」を開催し、堺環濠都市遺跡の調査で明らかになりつつある中世都市堺の実態、特に景観復元をテーマとして展示。(来場者4,395人) ・史跡旧堺燈台の特別公開、史跡土塔の特別公開を開催。 ○埋蔵文化財確認調査 ・埋蔵文化財緊急発掘調査により遺跡の状況を確認し記録。（13件） ○出土遺物保存処理 ・業務委託により出土遺物の化学的な保存処理を実施。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先	委託業者、文化財所有者・文化財保存団体		
10	公民連携・協働事業			

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標　点検対象年度 令和12年度
11	指定等文化財等の公開・活用のうち史跡旧堺燈台・史跡土塔の特別公開参加者	人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	930	710		
			達成率	78%	59%		
	当該指標を選定した理由	指定文化財等の特別公開を開催することにより、文化財保護意識を醸成し堺の歴史文化に対する情報を広く発信する。					
	目標値の設定根拠・算出方法	指定文化財等の特別公開（史跡旧堺燈台・史跡土塔）の来場者数					

	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度
12	埋蔵文化財緊急発掘調査件数	件	目標値	12	12	12
			実績値	13	13	
			達成率	108%	108%	
	当該指標を選定した理由	埋蔵文化財調査の実施件数が個人住宅建設に伴う発掘調査費用などの負担の軽減につながるだけでなく、調査成果が市内遺跡の内容把握、遺跡保護に関する基礎データとして活用できることから、件数を重ねることでより周辺の状況に即した市内文化財の保存を図ることが可能となるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	実際の調査件数（実績）				

令和8年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	文化財保護事業	事業番号	008-049

Ⅲ．令和8年度予算要求額

事業コスト　（単位：千円）

		項　　目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
13		事業費（a）	13,092	7,579	23,685	34,495	20,353
	財源内訳	国支出金	1,361	1,299	1,000	10,623	5,684
		府支出金	0	0		199	158
		市債	0	0		0	0
		その他（　　基金繰入金　　）	0	0	8,000	2,272	4,125
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0		0	0
		一般財源	11,731	6,280	14,685	21,401	10,386

事業費の内訳　（単位：千円）

		主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
14	事業費内訳	会計年度任用職員報酬	R7	予算	126	63	さかい利晶の杜企画展示	R7	予算	300	300
			R8	予算	1,081	541		R8	予算	300	300
		堺市文化財情報システム（GIS）保守点検業務	R7	予算	550	550	文化財保存事業補助金	R7	予算	1,387	1,387
			R8	予算	426	426		R8	予算	4,884	4,884
		埋蔵文化財緊急発掘調査業務	R7	予算	1,000	500	指定文化財樹木保護増殖業務	R7	予算	999	0
			R8	予算	1,056	528		R8	予算	792	634
		出土遺物保存処理業務	R7	予算	1,000	500	堺市指定有形文化財本願寺堺別院保存修理補助事業	R7	予算	6,740	6,740
			R8	予算	650	325		R8	予算	0	0
		古墳発掘調査業務	R7	予算	0	0	その他（需用費、役務費など）	R7	予算	22,393	11,361
			R8	予算	5,600	0		R8	予算	5,564	2,748

債務負担行為　（単位：千円）

15	期間	R　～　R	要求額	

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16		
	R7まで	・文化財課情報システム更新（R8.3） ・本願寺堺別院保存修理事業 ・史跡四ツ池遺跡保存活用計画策定着手（R7.9～） ・さかい利晶の杜企画展開催
	R8	・百舌鳥古墳群発掘調査実施 ・さかい利晶の杜企画展開催
	R9以降	・百舌鳥古墳群発掘調査実施 ・さかい利晶の杜企画展開催 ・史跡四ツ池遺跡保存活用計画策定 ・本願寺堺別院保存修理事業について、経蔵ほか3棟について実施予定

Ⅴ．要求のポイント

17	要求のポイント	・文化財の保存修理や防火設備設置等を実施する所有者・団体に補助金を交付し、指定・登録文化財の保護を図る。 ・令和7年度に更新した文化財情報システムで、届出の電子申請による受付事務を開始する。 ・遺跡から出土した遺物のうち、木製品や金属製品などの脆弱な資料を対象として保存処理を実施し、公開・活用を図る。 ・堺環濠都市遺跡などの発掘調査成果や指定文化財を公開・活用することで、類いまれなる堺の歴史を広く発信する。 ・史跡の特別公開（土塔・旧堺燈台）、史跡四ツ池遺跡保存活用計画策定等、公開活用の取組を実施する。 ・百舌鳥古墳群の発掘調査により得た成果を公開活用する。 ・個人住宅等建設工事に先立って埋蔵文化財緊急発掘調査を実施し遺跡の保存を図る。

文化財保護事業

堺市 SAKAI CITY

■国史跡四ツ池遺跡整備事業

R8年度予算要求額：204千円

●背景

○四ツ池遺跡は、泉州地域を代表する弥生時代の集落遺跡であり、国史跡に指定されている（平成元年度指定、平成13年度追加指定）。平成3～16年度に国庫補助金を活用して史跡の一部を公有地化した。この国庫補助金を活用して公有化した土地について、令和6・7年度に文化庁と調整した結果、史跡地内にある堺市立浜寺中学校を長期的な位置付けとした上で保存活用計画を策定し、策定後に国庫補助金を活用して公有化した土地から段階的な整備が可能、との見解を得た。
○このような経緯から、国庫補助金を活用して公有化した土地を令和17年度内に公開することをめざして、令和7年度より国史跡四ツ池遺跡整備事業に着手した。

●事業内容

○国史跡四ツ池遺跡を将来にわたり適切に保存管理・活用し、次世代へと確実に継承することを目的に、その指針となる「国史跡四ツ池遺跡保存活用計画」を策定する。※計画は令和9年度策定予定。

●事業の必要性

○「文化財保存事業費関係補助金交付要綱」において、「補助事業者は、当該補助事業により取得した土地についての保存に適した整備を行わなければならない」と述べられている。
○整備に際して国庫補助金を活用するためには保存活用計画の策定が必須、との文化庁の方針がある。

文化財保護事業

■百舌鳥古墳群の調査･普及事業

R8年度予算要求額：9,387千円

●背景

○百舌鳥古墳群は、わが国における古代国家形成期の中央政権の状況を知ることができる極めて重要な古墳群として、国史跡に指定されている。
○百舌鳥古墳群の一つである長塚古墳は、現在墳丘部分が史跡に指定されているが、史跡外ではこれまで十分な調査がなされておらず、周濠などの古墳全体の範囲は不確定な状況にある。
○長塚古墳の今後保護が必要な範囲を確定していくために、公園整備に先行して、令和8年度に発掘調査を実施する。併せて、長塚古墳に限らない百舌鳥古墳群全体の調査成果を市内外に広く情報発信することで、百舌鳥古墳群の周遊促進につなげる。

●事業内容

○長塚古墳の発掘調査･現地説明会
○古墳の土層剥ぎ取り標本作成

●事業の効果

○発掘調査を実施することで、長塚古墳の今後保護の必要な範囲が明確となる。
○発掘調査の現地説明会の開催や古墳の土層剥ぎ取り標本を作成することで、百舌鳥古墳群に対する理解や関心を高めつつ、百舌鳥古墳群の周遊促進に寄与する。

堺環濠都市遺跡遺構展示事業

R8年度予算要求額：1,700千円

●背景

○中世の堺は、自治都市として交易と自治、文化が同時に発展した日本でも唯一無二の都市である。
○諸外国からも日本を代表する都市として認識されていた。現在も、日本を代表する中世自治都市として、教科書をはじめ、歴史ドラマでもたびたび取り上げられている。
○しかし、市内において中世都市堺の景観や生活の痕跡など当時の繁栄を直接体感できる場が整備されていない。

●事業内容

○堺の歴史や都市の魅力を市内外に発信するため、遺構を発掘し展示を行うことを視野に、令和8年度は試掘調査及び展示・保存方法等のヒアリングを目的とした他市視察を行う。
○展示面積は、30～50㎡を想定。令和９年度以降の発掘調査結果をもとに、中世の堺が理解できるような効果的な展示を実施する。
○環濠エリアは一般的には中世自治都市のイメージをもたれているが、堺は1615年に大坂の陣の兵火で全焼したため、現在、エリア内の歴史文化スポットは江戸時代以降のものしか残っていない。中世都市堺の遺構展示が実現すれば、巨大古墳から中世、近世、近代に至るまで、歴史上に存在感を示してきた堺の歴史をトータルとして体感することができる。

堺環濠都市遺跡遺構展示事業

R8年度予算要求額：1,700千円

●効果

①市民意識の醸成
利休が暮らした中世都市堺の歴史を「体感できる形」で示すことで、市民が本市の類いまれな歴史の価値を再認識できることに加え、歴史的価値を市民と共有することで、愛着や誇りを育むことにつながる。

②観光誘客
市民だけでなく観光客に対しても「中世堺の繁栄を体感する展示」を提供することができる。茶の湯との連携や既存コンテンツとの組み合わせにより、歴史ストーリーを構築する。

③次世代への継承
堺環濠都市遺跡を教材として活用し、教育を通じて貴重な歴史を堺の未来を担うこどもたちへ継承することで、堺のさらなる発展につながる。

堺環濠都市遺跡の発掘調査で確認した中世の茶室や蔵

令和8年度　事務事業予算要求シート（1）

					要求区分	その他	
一般会計					事務事業分類	A　一般事務事業	
事務事業名	博物館管理事業				事業番号	008-062	
担当部署名	文化観光	局	歴史遺産活用 博物館	部	学芸		課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2030	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(1) 類いまれな歴史文化資源の継承と観光地としての魅力の向上
			有	取組の方向性	①類いまれな歴史文化資源の継承と磨き上げ		
		寄与するKPI	有・無	指標名	世界遺産・大仙公園エリア、環濠エリア、堺東駅及び堺駅・堺旧港周辺の来訪者数		
			有	現状値	848万人（2024年度）	目標値	1200万人(2030年度)
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑻働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9
			有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信		
		寄与するKPI	有・無	指標名	―		
			無	現状値	―	目標値	―

2	関連計画				
3	事業開始年度	昭和　55　年度	点検対象年度	令和　12　年度	
4	実施根拠 （根拠法令、条例等）	博物館法・文化財保護法			

事業の概要

5	事業の実施主体	堺市博物館		
6	事業の対象	市民及び本市への来訪者	対象数	単位
			―	―
7	事業の目的	博物館（堺市茶室含む）を安全で快適な施設として、市民や来館者を受入れられるよう、施設の運営及び維持管理を適切に実施する。		
8	事業内容 ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	・堺市博物館の警備、清掃、機械運転、受付等の施設の運営に関する委託業務をはじめ、老朽化した施設・設備の保守点検及び修繕工事等、博物館の維持管理に必要な対応を適宜実施する。 ・堺市茶室については、利用促進や文化財の保護に向け、適切な維持管理等を行う。 ・堺市立みはら歴史博物館については、指定管理者のモニタリング等を適正に行う。 ・（仮称）堺ミュージアムの整備に向けた検討を進める。		
9	主な支出先	委託業務の受注者		
10	公民連携・協働事業			

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

				実績	実績見込み	目標	目標　点検対象年度
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	入館者数	人	目標値	140,000	155,000	160,000	193,000
			実績値	130,743	127,000		
			達成率	93%	82%		
	当該指標を選定した理由	館蔵資料を適切に保存管理することができる環境や、当館で入館者が快適に過ごすことができる環境を維持することは、入館者へのサービス向上に繋がり、入館者増に寄与するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	令和7年度が12ヵ月開館であったとして入館者数を160,000人と試算。令和8年度は同数維持を目標。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	
	市の事業や貸館等で茶室を利用した日数	日	目標値	5	7	10	
			実績値	5	8		
			達成率	100%	114%		
	当該指標を選定した理由	茶室を活用した事業の実施や貸館事業の実施が、世界遺産・大仙公園エリアへの来訪者数の増加に繋がるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	茶室でのイベント等開催した日数を算出（ただし、長期間の展示等は除くこととする）					

令和8年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	博物館管理事業	事業番号	008-062

Ⅲ．令和8年度予算要求額

事業コスト　（単位：千円）

		項　目	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 予算	令和8年度 予算要求
13		事業費（a）	244,320	225,427	273,454	405,750	284,343
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		府支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	2,100	67,400	130,200	0
		その他（　基金繰入金、物品売払収入　）	14,121	87,563	30,917	128,773	23,540
		受益者負担金(使用料、手数料等)	44,329	30,144	10,070	36,945	25,699
		一般財源	185,870	105,620	165,067	109,832	235,104

事業費の内訳　（単位：千円）

		主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
14	事業費内訳	会計年度任用職員報酬等	R7	予算	41,833	41,833	堺市立みはら歴史博物館指定管理料	R7	予算	42,328	0
			R8	予算	42,003	42,003		R8	予算	42,328	42,288
		施設保守点検等委託料等	R7	予算	8,085	2,385	各業務委託料	R7	予算	76,134	33,076
			R8	予算	10,643	10,643		R8	予算	114,538	104,358
		施設・物品等修繕料、予防保全用施設老朽化改修工事	R7	予算	16,300	400	国際文化観光基金積立金	R7	予算	5,210	800
			R8	予算	20,400	400		R8	予算	6,197	0
		空気調和設備改修工事、工事監理業務	R7	予算	173,700	0	その他（使用料及び賃借料、負担金、役務費等）	R7	予算	5,522	5,522
			R8	予算	0	0		R8	予算	4,889	4,889
		電気、水道、ガス使用料	R7	予算	36,638	25,816		R7	予算		
			R8	予算	43,345	30,523		R8	予算		

債務負担行為　（単位：千円）

15	期間	R　～　R	要求額	

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	施設の管理運営事業、老朽化施設・設備の更新（空気調和設備改修工事）、堺市立みはら歴史博物館の指定管理業務、（仮称）堺ミュージアム基本構想（案）の取りまとめ
	R8	施設の管理運営事業、老朽化施設・設備の適宜更新、堺市立みはら歴史博物館の指定管理業務、（仮称）堺ミュージアム基本計画策定に向けた準備作業に着手、堺市茶室の修繕、ニーズ把握を目的とした茶の湯体験メニューの実施。
	R9以降	施設の管理運営事業、老朽化施設・設備の適宜更新、堺市立みはら歴史博物館の指定管理業務、（仮称）堺ミュージアムの整備に向けた取組の推進

Ⅴ．要求のポイント

17	要求のポイント	開館から40年以上が経過し、施設・設備とも老朽化が顕著であるため、計画的に改修・更新工事を進めていく必要がある。 令和8年度は、（仮称）堺ミュージアム基本計画策定に向けた準備作業に着手する。 堺市茶室「伸庵」における茶の湯体験メニューの実施や建具の修繕等により、茶室利用を推進する。

博物館管理事業

■堺市茶室の利用促進に向けた取組

R8年度予算要求額：6,700千円

●背景

○大阪・関西万博において、茶の湯文化を大成した千利休のふるさと堺として、三千家による呈茶など、茶の湯文化の魅力を世界に発信するイベントを開催した。また、R7年10月からは、大仙公園内でガス気球の運行がはじまり、多くの方が同エリアに訪れている。
○堺市茶室「黄梅庵」「伸庵」は国登録有形文化財で、庭園には国指定重要文化財の旧浄土寺九重塔があり、魅力的なコンテンツである。また、「伸庵」では、気軽にお茶をいただくことができる立礼席も実施している。
○万博や気球の誘客効果を最大限に活かすため、茶室の利用促進に向けた取組が急務となっている。

●事業内容

○立礼席での呈茶以外の茶の湯体験メニューの拡充に向け、試験的にいくつかの体験メニューを実施することでニーズを把握し、今後の新規体験メニュー等を検討。
○堺市茶室の更なる魅力向上及び文化財の適切な保存並びに、茶室利用者のおもてなし環境の整備に必要な修繕等を実施。

●期待される効果

○ニーズに沿った茶の湯体験メニューの拡充による大仙公園エリアでの来訪者滞在時間の延伸や「茶の湯が息づく堺」の推進に寄与。

博物館管理事業

堺市 SAKAI CITY

■（仮称）堺ミュージアムの整備に向けた取組　<u>R8年度予算要求額：50,000千円</u>

●背景

○堺市博物館は、1980年の開館から45年が経過し施設・設備の老朽化が顕著な状況で、展示スペースや収蔵スペースが不足している。
○堺 アルフォンス・ミュシャ館は、美術館機能を想定した施設でないため、天井が低く、温湿度管理機能を有しておらず、美術品の展示にとって最適な環境ではない。
○アルフォンス・ミュシャ作品をはじめとした本市のコレクション（収蔵作品）の収蔵施設が分散している。
○このようなことから、「先人から受け継いだ堺の類いまれな歴史・文化を発信し、未来へ継承する」「アルフォンス・ミュシャ作品をはじめ本市のコレクションや文化財を集約して、保管・展示する」ことを目的に、（仮称）堺ミュージアムの整備に向けた検討を進めている。

●事業内容

○令和8年度に策定予定の（仮称）堺ミュージアム基本構想を基に、基本計画の策定に向け必要な諸条件の検討を進める。
○現博物館建物の利活用に向け、既存建物の躯体や設備等の劣化の状況を把握し、改修内容及び改修工事費用等の検討を行う。

●期待される効果

○（仮称）堺ミュージアムの整備により、以下の効果が期待される。
・KPI（世界遺産・大仙公園エリアへの来訪者数）達成への寄与
・類いまれな歴史・文化の魅力発信によるブランディング強化
・集約化による効率的・効果的な管理運営